

## 広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	椎骨動脈血管病変に対する対側椎骨動脈アプローチの安全性と有効性に関する研究
研究責任者 (所属科名)	松重 俊憲 (脳神経外科・脳血管内治療科)
研究対象	脳血管内治療を施行した椎骨動脈領域に位置する脳血管障害病変で、対側椎骨動脈からのアプローチで脳血管内治療を行った方。
本研究の目的・意義	脳血管障害に対して、脳血管内治療が進歩し盛んに行われています。特に椎骨脳底動脈の動脈瘤は開頭手術では侵襲が高い手術となり、脳血管内治療が有利とされています。しかし、椎骨動脈瘤や後下小脳動脈瘤はその分岐角度によっては、病変側の椎骨動脈のみのアプローチでは治療困難な場合がある。そこで我々は対側椎骨動脈から椎骨脳底動脈合流部を越えてアプローチすることで病変へ到達し、脳血管内治療を行っています。 我々は脳血管内治療を施行した脳血管障害病変（椎骨動脈瘤あるいは後下小脳動脈瘤）で、対側椎骨動脈からのアプローチを行った症例を後方視的に調査し、椎骨動脈血管病変に対する対側椎骨動脈アプローチの安全性と有効性について検証します。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：2017年4月～2024年4月 研究期間：2024年12月までを予定しています。
該当資料・データ	★対象となる患者様 当院にて脳血管内治療を施行した椎骨動脈瘤あるいは後下小脳動脈瘤で、対側椎骨動脈からのアプローチを行った方。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録(患者背景等)、検査データ(画像データ等)を利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源	なし